

新型コロナウイルス感染症の具体的対策について

(令和4年6月23日版) 冬季の対応は削除してあります

登校時に行う児童への指導について

- ・毎日、家庭で健康チェックカードに体温・体調を記入し、健康観察を行う。
- ・熱中諸対策に伴うマスクの着脱については[別資料](#)
- ・ランドセルに予備のマスクを2~3枚入れておく。
- ・集団登下校時のマスク着脱については[別資料](#)。
- ・児童玄関前で、「健康チェックカード」を担当職員に見せて確認してもらう。検温していない児童は、校舎に入る前に保健室前テント下へ移動させ、検温を行う。→異常なければ、健康チェックカードに記入し、教室へ移動。
- ・教室に入る前に、手指消毒をする。
- ・校門や玄関等での密集しないように、時間差登校を行う。(①7:50~8:00 ②8:00~8:10→③8:10~8:15)
- ・毎日、児童の健康チェックカードを担当がチェックし、児童の健康状態を把握する。また、有症者への早期対応に努める。

学校での過ごし方について

【授業中】

- ・児童の指導を行う。(マスク着用、咳エチケットの励行、手洗い、うがいの徹底、手指消毒の徹底、顔やマスクなどを触らないように指導、帰宅後の手洗いと洗顔)
- ・児童同士がなるべく1m位離れるように机の間隔の距離をとる。移動する際も、友だちとの間隔を1m位あけるように指導する。
- ・夏季の期間は、エアコン、スポットクーラー、サーキュレーターを適切に使用する。
- ・教室の窓と入り口を原則開放状態(2方向開放・エアコン使用時も必ず行う)にし、換気されている状態を保つ。風が強くて支障が出る場合、熱中症予防のためにしっかり冷房が効く状況にしなければならない場合は、時間で換気をするようにする。(授業間の休み時間に窓を全開にして十分な換気を行う。)環境チェック表で点検しながら意識を持つ。寒いときは防寒できるように配慮する。
- ・学年単位以上の集会は行わない。行う場合は、児童間の距離を十分とって、換気をし、短時間で行う。
- ・授業では、班活動、グループ学習は行わない。
- ・理科の授業で感染症防止対策をとった上で、理科室を使用することができる。地域感染レベル3・レベル2の場合は、近距離で活動する実験や観察は行わない。
- ・音楽の授業では、歌唱や口に触れる楽器の演奏の学習については地域感染レベル3・レベル2の間は、見合わせる。(状況や内容によっては音楽の授業を行わない場合もある。)
- ・音楽室の使用について、次の条件で使用を可能とする。①一度に入室する児童を16名以上にしないこと。②二列で前後左右に広がり、左右は1m、前後は2m程度の間隔を確保すること。③同一の方向を向いて行うこと。④マスクは着用すること。⑤2方向以上の窓や入り口を開放して、換気に留意すること。⑥高

低差をつけないこと

- ・体育の授業は当面は屋外で行う。体育の授業で体育館を使用する場合は、四方向の換気を適切に実施し、大型扇風機を活用しながら、クラス単位で児童間に十分な距離をとって行う。暑さ指数（WBGT）が25℃以上の場合には、マスクを外すことを指導する。
- ・準備体操を十分に行うようにする。
児童同士の間隔を十分とる。身体接触の多い活動は当面行わない。（履修時期を工夫する。）授業前後、石鹸で十分に手を洗い、手指消毒をする。激しい運動は控える。暑くなると、熱中症になりやすくなるので、水分補給をしっかりとる。
- ・家庭科において、調理などの実習について、年間指導計画の中で指導順序を変更することや衛生管理をより一層徹底する。→地域感染レベル3・レベル2の間は、調理実習は見合わせる。（状況や内容によっては家庭科の授業を行わない場合もある。）
- ・用具や物品の共用を避けることができれば避けるようにする。共用を避けるのが難しいものについては、使用後手洗い、手指消毒を徹底する。
- ・授業で共有したもの（教材など）は消毒をする。タブレットやPCは、除菌シートで消毒する。使用前、使用後の手洗いや消毒などを徹底させる。
- ・使用したティッシュ、マスク等専用の蓋付きゴミ箱を準備（ビニール袋を使用し、廃棄の際は消毒液噴霧後に密閉廃棄）し、マスクの廃棄について指導する。
- ・体調不良等を訴える児童については、発熱の有無にかかわらず、保護者の迎えを要請し、早退させる。

【休み時間】

- ・友達と遊ぶときには、エチケットの距離をとる（1m以上）
- ・休み時間終了後は、手洗い・うがい、手指消毒をして教室に入る。
- ・暑さ指数（WBGT）が25℃以上の場合、マスクを外すことを指導する。

【トイレ・手洗い場の使用】

- ・トイレ、手洗い場が混み合っている場合は、感染を広げない人と人との間隔（ソーシャルディスタンス）をとり、トイレや手洗い場が空くまで、静かに待つ。（床に立ち位置の表示）
- ・トイレスリッパの使用をやめる。
- ・手洗いが終わったら、清潔なハンカチで手をふき、手指消毒をしっかりとる。

【給食時の対応】

- ・手洗い、うがいをしっかりとる。手洗い後は清潔なハンカチでふく。手指消毒をしっかりとる。配膳台、児童の机を消毒する。児童の机を消毒することから、この期間、ランチマットは使用しない。
- ・配膳は、廊下で行う。
- ・配膳を待つ間に読書はしない。
- ・食べる直前に正しくマスクをはずし、手指の汚染に気をつけさせる。（うまく外せなかった児童については手洗いか消毒をさせる。）はずしたマスクは机の横にかけておく。

- ・全員が給食着をしっかりと身につける。→暑さ対策として、給食当番、配膳係以外、給食着は身につけなくてもよい。配膳時は全員マスク（給食専用のマスクに取り替えはしない）をし、必要のない話はしない。騒がない。
- ・換気をする。
- ・非対面式の形で給食を食べる。食事中は話をしない。食後は、すぐにマスクを着用する。
- ・いったん配膳された給食が多くても、減らさない。食べられない場合は残すようにする。
- ・異物が混入しないように上蓋を必ずする。
- ・おかわりは、手指消毒後の担当が、トング等を使用し行う。
- ・配膳、片付け時は、児童同士が整列する場合は間隔を十分とり、密集を避ける。
- ・昼の放送はしない。
- ・食べ終わったらすぐにマスクを着用する。
- ・給食後の歯みがきは、行わない。口腔内洗浄のため、食後に水筒のお茶を飲む。
- ・牛乳パックは水洗いせず、業者の回収に出す。
- ・給食の食缶類について、児童が給食室に返却作業をしないで、廊下のワゴンに積んでおく。

【清掃時の対応】

- ・十分な換気をして清掃する。
- ・清掃後、手洗い・うがいをしっかりする。手指消毒も実施する。
- ・可能な範囲内で水拭き掃除をする。
- ・トイレ清掃は、方法を教師が指導し、児童が行う。

【下校の対応】

- ・帰りの会終了後、すみやかに児童玄関に移動し、ただちに下校する。
- ・下校の班の集合(低学年)は、児童同士の距離をとってグラウンドに集まる。児童同士の距離をとって整列する。
- ・放課後デイ利用児童のお迎えは保健室前とする。
- ・暑さ指数(WBGT)が25℃以上の場合は、マスクを外して下校することを指導する。また、下校前に十分に水分補給をさせる。

【学校行事】

- ・三密にならないように配慮をする。使用する場所は時間差をつけて密集しないようにする。
- ・感染予防のため、三密になるような行事等は延期や中止する。感染拡大予防のため、校外学習の延期を考える。
- ・始業式や集会等の儀式的行事で十分な感染予防対策がとれない場合は、放送により教室で実施するなどの工夫をする。
- ・避難訓練、防犯訓練などは教室での事前指導を十分に行い、時間をかけずに行う。

【保健室の利用】

- ・切り傷、けが等の軽症者は第2保健室（校長室前に特設）で手当を行う。
- ・体調不良者は早退とする。保健室グラウンド側テント下で検温する。→発熱者は外側入口より入室する。保健室で待機する。（ただちに保護者に連絡しお迎えに来てもらう。保健室南口へお迎え）

【図書館の利用】

- ・給食開始後は、図書館に大勢が集まらないよう、曜日を決めて、さらに時間差をつけて休み時間に利用する。
- ・調べ学習は、図書館でせず、教室で実施する。司書は返却された本の消毒の実施、机等の消毒をする。

【児童へのエチケット、モラルの指導・心のケア】

- ・早退者や出席停止者の児童への差別が起こらないような事前指導を行う。感染者発生後も差別が起こらないように指導を継続する。
- ・保護者に対しても児童と同様に、感染等に関わるデマや偏見またSNS等による誤った情報の拡散が絶対に起きないように冷静な対応をお願いする。学校が情報提供をしなければならない場合は、保健所、甲府市教育委員会の指示のもと必要最小限の情報について適切に公開をする。
- ・学校生活全般、休日も含め、手洗い・咳エチケット同様、「うつらない・うつさない・思いやりの行動」に大切な「感染を広げない人と人との間隔、ソーシャルディスタンス」について指導する。
- ・「心のケア」について相談しやすい雰囲気づくりに努める。→家庭へスクールカウンセラー（SC）の紹介・職員とSCの連携・文科省24時間子供SOSダイヤルの周知など

【消毒・来校者対応】

- ・職員玄関、教室前、図書館前に手指消毒液を設置し必要時消毒を実施。
- ・来校者に対しては、短時間の場合は、校内に入れないで職員玄関で対応する。点検や検査、物品搬入の場合は入退出際の消毒徹底と来校時刻と退校時刻の記録、検温と健康状態を記入させる。マスク未着用者は入室させず、外で対応する。
- ・児童下校後、ただちに全職員で教室内、ドアノブ、手すり、スイッチなどの消毒を行う。

【合唱部】

- ・地域感染レベル3・レベル2の間は活動しない。

下校後の過ごし方について

- ・児童は下校後、原則自宅ですぐ過ごす。不要不急の外出は避け、友達とは遊ばない。